

だて体協



伊達市総合体育館「あかつき」
メインアリーナ

発行 〔第 3 号〕
NPO 法人伊達市体育協会
会 長 坪 俊 輔
事務局 伊達市松ヶ枝町 34-1
伊達市総合体育館内
Tel 0142-23-8600
fax 0142-23-8601
mail office@datetaikyo.jp
<http://www.datetaikyo.jp/>

伊達市総合体育館の
1 年間を振り返って

NPO法人 伊達市体育協会
会 長 坪 俊 輔

平成 24 年 4 月 1 日に市民待望の伊達市総合体育館「あかつき」がオープンしまして早 1 年がすぎました。

顧みますと、こけら落としの「はつらつママさんバレーボール」をはじめ、全道規模の剣道大会やバレーボール、バスケットボール大会、さらにはプロバスケットボールのレバンガ北海道の試合など数多くの大会が開催され、全道に誇れる体育館として大いに PR ができましたし、入場者数も 10 万人に達する勢いで、当初の予想を大幅に超える利用者でにぎわいました。

これらの大会等を誘致し開催していただいた体育協会の各加盟団体や、体育関係者の皆様方のご努力とご協力に敬意を表すると同時に、日頃から利用していただいている少年団やサークルの皆様方にも深く感謝申し上げます。

伊達市体育協会としては、今後も各種競技大会やスポーツ合宿、イベントや興行等を積極的に誘致し、競技レベルの質的向上や相互交流を図るとともに、体育館の整備促進や運動環境の充実を目指して日々努力してまいります。

H24

新規事業



☆「ジュニア体操教室」

平成 24 年 6 月 1 日（金）～7 月 27 日（金）全 6 回《参加者 14 名》を行いました。

トランポリンを組み入れた教室で子ども達は毎回楽しそうに授業を受けていました。



☆「ジュニア水泳教室」

平成 24 年 5 月 16 日（水）～7 月 4 日（水）全 8 回《参加者 20 名》遊びながら水に慣れることから始めて、バタ足・面かぶりなどを楽しく学びました。

平成24年度 加盟団体活動紹介

NPO法人伊達市カーリング協会

アルミ製のビア樽を改造した手作りストーンを用いて始め北海道協会発足に合わせ同好会から伊達市カーリング協会を改称し組織の充実をはかり平成11年8月8日NPO法人の認証を受け現在に至っています。協会事業としては協会内でのリーグ戦、地方大会へのチーム派遣、地元協会チームを呼んでのADM杯そして底辺拡大の意味での初心者講習会等があります。近年なかなか出場できなくなった全道大会に出場できる様、日々練習しています。温暖化に悩まされている近年、天候に左右されない屋内施設建設を夢見てカーラーを増やしアピールして頑張ります。

伊達市ゲートボール連盟

伊達市ゲートボール連盟は昭和57年8月に創立し、現在31年を迎えています。

平成24年度の主な事業は次のとおりです。

1. 月例会 (年間18回)
2. 登別市協会交流大会 (春・秋各1回)
3. 胆振連合親善大会 (秋 1回)
4. 審判員講習会 (冬期 1回)

夏期は市営ゲートボール場2面を利用し毎日練習、冬期は毎週火・金曜日に市体育館を利用し、親睦交流大会等へ参加、「仲間の絆」作りに力を注いでいます。

伊達歩くスキー協会

1月から3月まで冬期間は、主にゴルフ場や林道で歩くスキーを、大滝常設コースではクロスカントリースキーを行っております。2回の市民歩くスキー教室の開催と大滝国際スキーマラソン大会の参加を含め、毎週土日のいずれかに例会を実施しています。夏の間は、伊達周辺の山々で月2回程の登山会を行っています。特に紋別岳は伊達歩くスキー協会がコースを切り開き草刈りなどをして管理、全国的にも有名な山となっています。

毎年沢山の方が訪れてにぎわっています。

大滝ノルディックウォーキング協会

平成12年、日本初のNW協会を設立してから13年が経過しました。今年は初心者教室15回(大滝6回、伊達9回)指導者養成・資格継続講習9回(大滝4回の登別札幌旭川岩手長野)月例会6回(大滝)第13回国際NW大会(400名参加)等を開催しました。

また、大震災発生直後の昨年4月から、会員2名を月1回東北へ派遣し、高齢者の健康維持に協力しました。NWは誰にでも出来る簡単なスポーツです。来年は伊達市街地での講習会を更に増やす予定です。多くの市民の皆様のご参加をお待ち致しております。

伊達サッカー協会

伊達サッカー協会は、少年団からシニアまで16チームが日本サッカー協会に登録し活動しています。

平成24年度の事業は、少年団では、わかさいも杯(3年生)、コバケンホーム杯(4年生)、伊達JC杯(5年生)、タラブ杯(6年生)を開催しました。中学生は胆振西部フットサル交流会を開催しております。会長杯では中学・高校・社会人が参加し、サッカーのレベルアップを目指しています。また、まなびの里にサッカー専用の人工芝グラウンドが完成したことから、さらなるサッカーの普及・振興を図っていきます。

伊達テニス協会

伊達テニス協会では、市民の皆様にテニスを通して爽やかな汗を流してもらい心地よいひと時を過ごしてもらう目的でテニス講習会を開催しています。

今年も6月2日から7月7日までの毎週土曜に講習会を開催しました。また、会員のレベルアップを図るため、5月に会長杯、7月に佐々木電装杯、10月に道新杯の各種大会を開催しました。11月から3月までは、市体育館で毎週土曜日に室内練習をしています。



伊達太極拳協会

私どもの協会は、洞爺湖町、壮瞥町にも教室を持ち、年1回合同で発表会を実施しています。今年の北海道武術協会の友情出演として全日本シード選手の特別演武披露もあり意義深い大会となりました。

全道交流大会にも、毎年参加し過去9回優勝・入賞も果たしています。

また、指導員養成研修会を年4回実施して指導員としての自覚とレベルアップに努めております。

ただ今、会員を募集してします。年齢は問いません。

総合型地域スポーツクラブ

伊達市スポーツ少年団本部

柔道・剣道・野球・少林寺拳法・バレーボール・バドミントン・卓球・ミニバスケット・サッカー・バトン・テニス・シニアクラブ・体操等の27少年団(561人)がそれぞれ練習を重ね各競技の試合に参加しています。本部の事業として、毎年体育の日に体育祭(団員の表彰・スポーツ交流)と11月に団員の体力測定・1月にジュニアリーダー交流研修を開催、また北海道本部及び日本本部主催の少年大会やジュニアリーダー・シニアリーダー交流研修会には団員を派遣し健康な身体と心を培う努力をしています。



NPO 法人伊達市体育協会 創立 50 周年記念式典・祝賀会

NPO 法人伊達市体育協会 会長 坪 俊輔

NPO 法人伊達市体育協会が、創立 50 周年という記念すべき節目となる年を迎え、多くの皆さんにお集まりいただき、盛大に記念式典を開催できましたことは、本体育協会に携わるものとして、感慨無量で、喜びにたえないところであります。

これもひとえに伊達市、及び伊達市教育委員会、並びに各関係団体や市民の皆さまのご理解とご協力の賜と、心より厚くお礼申し上げます。

記念式典・祝賀会では伊達市長 菊谷秀吉様はじめ多くの方々からご祝辞をいただき、また、居合道の演舞、太極拳、聖龍太鼓など、創立 50 周年記念式典に華を添えていただきました。この度の 50 周年を機に、本体育協会は今後とも市民皆スポーツを目指す伊達市の取り組みに、微力ながら協力していきたいと考えていますので、会員の方々や市民の皆様に温かいご支援のほどをお願い申し上げまして、紙上で失礼とは存じますが、50 周年記念式典・祝賀会終了にあたってのお礼の言葉とさせていただきます。

感謝状受賞者

(故) 中里 慶三 様
菊谷 達夫 様
坂 守昭 様
五十嵐稔宣 様
川村 弘人 様
久保田栄治 様
永谷 基 様
木村 勝典 様
北海道電力株式会社
伊達発電所 様



祝 辞



祝辞 菊谷市長



北海道体育協会 鎌田副会長

祝賀会の部～アトラクション～



田淵俊彦氏によります居合道演武の披露
厳かな雰囲気の中で祝賀会が始まりました。



統一された静かな動きの中にも美しさが表現されていました。
伊達太極拳協会のみなさんです。



出席者 183名

聖龍太鼓のみなさんの発表は迫力満点で
参加者もその演奏に釘付けになっていま
した。



式典部会（体協総務委員会）によるビンゴ
ゲームで大いに盛り上がりました。



平成23年度 NPO法人伊達市体育協会 決算報告

収 支 計 算 書

平成23年 4月 1日～平成24年 3月31日まで

指定管理業務

(単位:円)

科 目	予算額 ①	決算額 ②	差 異 ①-②	備 考
【収入の部】				
事業収入	66,243,000	66,079,618	163,382	
参加料等収入	1,163,000	1,226,900	△ 63,900	
体育施設利用料金等収入	9,488,000	9,258,052	229,948	
指定管理料収入	55,587,000	55,587,000	0	
施設雑収入	5,000	7,666	△ 2,666	
雑収入	3,000	1,592	1,408	
特定預金取崩収入	500,000	500,000	0	
当期収入合計(A)	66,746,000	66,581,210	164,790	
前期繰越収支差額	620,000	833,899	△ 213,899	
収入合計(B)	67,366,000	67,415,109	△ 49,109	

* 収入の部の差異の△印は収入減を示す。

科 目	予算額 ①	決算額 ②	差 異 ①-②	備 考
【支出の部】				
事業費	1,745,000	1,478,073	266,927	
施設管理事業費	36,323,000	37,680,400	△ 1,357,400	
管理費(人件費)	26,558,000	25,556,602	1,001,398	
事務費(租税公課)	1,300,000	1,522,555	△ 222,555	
事務経費	1,440,000	1,638,465	△ 198,465	
当期支出合計(C)	67,366,000	67,876,095	△ 510,095	
当期収支差額(A)-(C)	△ 620,000	△ 1,294,885	674,885	
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	△ 460,986	460,986	

* 支出の部の差異の△印は支出増を示す。

平成25年 伊達市体育協会表彰者

◇功 労 賞◇

◀ 多年にわたり、スポーツの普及振興に寄与し、その功績が顕著な個人 ▶

結 城 正 人 (伊達野球連盟)

清 野 泰 (伊達水泳協会)

伊 東 満 (伊達水泳協会)

由 川 一 (伊達スキー連盟)

福 田 さとし (伊達スキー連盟)

松 本 晃 (伊達スキー連盟)

廣 内 敏 子 (伊達市バレーボール協会)

竹 内 治 夫 (伊達市バレーボール協会)

竹 内 洋 子 (伊達市バレーボール協会)

太 細 昭 (伊達市バレーボール協会)

横 山 繁 夫 (伊達朝野球連盟)

松 下 勝 輝 (伊達朝野球連盟)

菅 原 純 子 (伊達歩くスキー協会)

中 野 政 子 (伊達パークゴルフ協会)

以上 14 名



伊達市体育協会
新規加盟団体の紹介

伊 達 フロアカーリング協 会 （24年度加入） 《平成24年度実績》

- 胆振管内スポーツフェスタの新種目になったの1年目、初参加で3位入賞。
- 第14回全国フロアカーリング大会(新得町)に参加、ダブルス部門で準優勝の快挙。
(伊達市より7名参加)他、洞爺大会・室民杯等にも参加。
- 室蘭・伊達交流会を伊達市体育館で実施
《24チーム参加》(8月9日)。
- 初心者フロアカーリング教室(主催 伊達市体育協会、
主管 伊達フロアカーリング協会)を開催。
- 24年から、公認指導員制度が導入され、伊達フロア
カーリング協会から2名受験し指導員2名誕生。
- ※現在会員60名程に増え、夏場(毎週火曜日)・冬場
(毎週火、木曜日)を活動日に設定し、ゲームを楽しみながら
“技を磨いています。”「会員の新規加入」は、随時可能です。



◇◆◇平成25年度 NPO法人伊達市体育協会主な行事予定◇◆◇

体育協会主催行事名	催 日 程	会 場
第5回プラチナエイジ・パークゴルフ交流大会	7月11日(木)	伊達市関内パークゴルフ場
第5回伊達市障がい者パークゴルフ交流会	8月1日(木)	伊達市海洋センターパーク場
第36回伊達市父ちゃん野球大会	9月22日(日)	伊達市館山野球場他2会場
第13回伊達市地域交流フルムーンパークゴルフ大会	10月6日(日)	伊達市関内パークゴルフ場
第4回伊達市障がい者スポーツ交流会	11月10日(日)	伊達市総合体育館
第28回伊達市トリムバレーボール大会	2月9日(日)	伊達市総合体育館
第10回伊達市地域交流レディースバレーボール大会	3月2日(日)	伊達市総合体育館



伊達市市民プール閉館のお知らせ



昭和56年より、市民の皆様にご親しんで頂きました市民プールですが、温水ボイラーの故障が相次ぎ、その度応急処置による修繕を行い運営してまいりましたが、最大の要因であります「ボイラー本体の腐食」が激しく、これ以上の修繕は難しいことから、平成24年度をもって閉館することとなりました。

利用者の皆様、関係団体の方々には大変なご不便とご迷惑をお掛けしますが、新プールがオープンするまでの間、近隣のプールを利用するよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

